

石狩海浜植物保護センター調査研究報告第3号

石狩海岸林の植生概要

(2004年度石狩海浜植物保護センター調査研究報告)

2006年1月

石狩海浜植物保護センター

## 石狩海岸林の植生概要

## 石狩海浜植物保護センター

はじめに

石狩海岸林は、北海道すぐれた自然地域にも指定され、石狩浜の重要な自然要素である。大部分が防風保安林に指定され、伐採などの開発からは免れ、比較的良好な自然状態を維持していると思われる。

しかし、周辺地域では砂の採取や道路建設なども行われており、人の侵入も容易であるため、過去に報告された種(1995,北海道環境科学研究センター)が現在も生育しているかは不明である。

今回は、海岸林の保全の状態や希少植物の生育状況を把握することを目的に、植生調査を行った。

## 調査地域および調査方法

石狩海岸のうち、石狩湾新港東端から石狩市親船町までの海岸林で、アプローチの容易な12箇所に、およそ100m×100mの調査区を設けた(図1)。

調査は、2004年5月～9月に計6回、毎回全調査区を踏査し、各調査区において、出現種、およびその分布の状態を記録した。分布の状態は、独自の基準をもうけて番号を記録した(表1)。また、林分の景観から林分タイプを記録した。さらに、国および北海道が指定する希少植物種をピックアップし、保全の課題についても記録した。

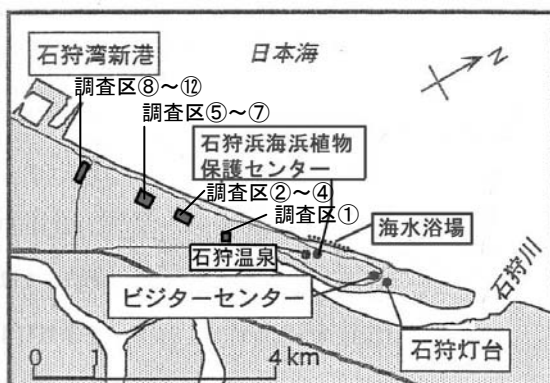


図1. 調査区の位置

表1. 出現種の分布の状態の基準とそれを表す指数

	分布の状態	指数
高木(幹径30cm以上) 垂高木(幹径30cm以下)	多い(10本以上)	I
	数本(10本以下)	II
	1本	III
低木・稚樹(樹高1m以下) 草本	広く群生	I
	広く点在	II
	少なく群生	III
	少なく点在	IV
	調査区に接する林縁に少数	なし

## 結果および考察

各調査区の出現種、各出現種の分布の状態、平均的な群落高、汀線からの距離、面積、緯度経度は、表2-1～2-12に示した。

林分タイプは、海からの距離が500m程度までの調査区では、カシワ林(調査区1, 2, 3, 4, 5, 6, 7)、またはカシワの割合が高いカシワ-イタヤカエデ林(調査区8)、カシワ-イタヤカエデ-ミズナラ林(調査区9, 10)であった。それより内陸では、カシワの割合が低くミズナラの割合が高いミズナラ-イタヤカエデ林であった(調査区11, 12)。また、海から内陸へ向かうにつれて、樹高も高くなった。

このような、汀線からの距離に応じた林分タイプの変化および樹高の変化は、すでに観察されているとおりであったが、北東の河口に近い調査区ほど、より内陸側でもカシワが優占していた(調査区1, 4, 3, 7)ことは、本調査で確認できたことである。

林床植生は、いずれの区もチマキザサが優占しており、内陸の区(調査区10, 11, 12)では、トクサやマイヅルソウも優占していた。

国および北海道レッドデータブック(絶滅の恐

れのある動植物リスト)に記載されている種では、ヤマシャクヤク(国 Vu, 道 R)、ホソバツルリンドウ、ミヤマママコナ(道 R)、クゲヌマラン(国 Cr)、ノダイオウ(国 Vu)が確認された。

ベニバナヤマシャクヤク(国 En, 道 En)は、今回の調査では確認されなかったが、翌年、調査区外で確認できた。

レッドデータブックには記載されていないが、石狩浜では数を減らしていると思われるエゾチドリが、複数の調査区で確認されたのも、留意すべき点である。

保全の状態については、一部調査区でゴミの投棄が目立ったほか、山菜採りや、下草がなくなり人が入って何らかの行為をした跡も確認した(調査区 1, 2, 9)が、高い自然状態を維持しよく保全されている区も複数あった(調査区 8, 9, 10, 11, 12)。

12調査区中9調査区で希少種が生育していたことから、石狩海岸林のうち特に石狩市域については、現在でも高い自然度を有しているといえる。

ただ、海岸利用者も多く、市街地から近い場所でもあることから、ゴミの投棄は今後も後を絶たない可能性が高い。海岸林内への大型ゴミの投棄は、海岸道路沿いの踏み分け道から車で侵入して行うものと思われる。従って、海岸道路沿いから中へ侵入できないよう、柵の設置等が課題である。

また、林内に侵入して、希少植物の採取が行われる可能性も十分考えられる。過度な山菜採りも、植生破壊につながりかねない。

今後も、保安林として伐採行為を規制していくとともに、希少種等の採取が行われないう、監視と啓発に努めていくことが大切である。

## 謝辞

本調査に調査員としてご協力いただいたみなさまに、深く御礼申し上げます。

## 引用

北海道環境科学研究センター(1993):「すぐれた自然地域」自然環境調査報告書 道央圏域 道南圏域

環境省(2000):レッドデータブック<植物I>

環境省(2001):レッドデータブック<植物II>

北海道(2001):北海道レッドデータブック

表2-1. 植生表(調査区1)

調査区No.	1
緯度経度	N43°14'08" E141°20'40"
面積	100m-93.5m-95m-80m方形区
汀線からの距離	400m
林分タイプ	カシワ林
群落高	計測せず

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
		カシワ アズキナシ イタヤカエデ ハリギリ サワフタギ キンギンボク		コマユミ アズキナシ ナニワズ キンギンボク ハマナス ナワシロイチゴ イタヤカエデ ハイイヌツゲ ツルウメモドキ ヤマブドウ イボタノキ ミヤマガマズミ エゾニワトコ		チマキザサ アマニュー クルマバソウ ヒトサマシキショウ スイバ オオヤマフスマ ハマハタザオ ハマエンドウ クサフジ メマツヨイグサ エゾカワラマツバ エゾルリトラノオ ヘラオオバコ オオヨモギ コガネギク エゾスカシユリ ヒメイズイ クサイ スズメノヤリ チャシバスゲ エゾチドリ ノダイオウ コシロネ ミヤマママコナ	

希少種                      ミヤマママコナ(道R)                      ノダイオウ(国Vu)                      エゾチドリ(指定なし)

備考                      ゴミ投棄が目についた。

表2-2. 植生表(調査区2)

調査区No.	2
緯度経度	N43° 13 799 E141° 19 936
面積	84m × 70m
汀線からの距離	250m
林分タイプ	カシワ林・一部伐採後ヤナギ林
群落高	3m

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
		ヤナギ属sp カシワ アズキナシ ケヤマハンノキ イボタノキ キンギンボク		コマユミ ヤマブドウ キンギンボク ハマナス ナワシロイチゴ アズキナシ ツルウメモドキ マユミ ナニワズ イボタノキ		チマキザサ アマニュー スギナ スイバ ヒメスイバ エゾノギシギシ Iゾカラナデシコ オオヤマフスマ ハマハタザオ ハマエンドウ ヒロハクサフジ メマツヨイグサ クルマバソウ ハマヒルガオ ヘラオオバコ オトコヨモギ オオヨモギ タンポポモドキ オオアワダチソウ コガネギク マイヅルソウ ヒメイズイ オオアマドコロ カモガヤ ハマニンニク ヨシ チャシバスゲ コウボウムギ エゾルリトラノオ エゾスカシユリ	

希少種

備考           オオアマドコロの自生地は山菜取りの跡があった。

表2-3. 植生表(調査区3)

調査区No.	3
緯度経度	N43°13' 756 E141°19' 964
面積	50m × 100m
汀線からの距離	350m
林分タイプ	カシワ林
群落高	計測せず

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
		カシワ アズキナシ イタヤカエデ タラノキ ハリギリ キンギンボク		コマユミ ツタウルシ ヤマブドウ ナニワズ ハリギリ イボタノキ キンギンボク		チマキザサ ワラビ オオイタドリ ヤマシャクヤク アマニュウ クルマバソウ オオヨモギ コガネギク オオアマドコロ コンフリー エゾルリトラノオ ビロードスゲ	

希少種 ヤマシャクヤク(国En/道R)

備考 林床にササのみの部分が多い。

表2-4. 植生表(調査区4)

調査区No.	4
緯度経度	N43°13' 783 E141°20' 109
面積	100m × 45m
汀線からの距離	450m
林分タイプ	カシワ林
群落高	6m

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
		カシワ アズキナシ イヌエンジュ イタヤカエデ ハリギリ ケヤマハンノキ エゾヤマザクラ		コマユミ ナニワズ サワフタギ イタヤカエデ ヤマブドウ アキグミ		チマキザサ アマニュー オオヨモギ ワラビ クマバソウ エソスカシユリ ハイミチヤナギ ミチヤナギ コゴメバオトギリ シロバナシナガワハギ シナガワハギ ゴボウ エゾノコンギク エゾノキツネアザミ セイヨウトゲアザミ セイトカアワダチソウ オオアワダチソウ クマバツクバネソウ キショウブ クサヨシ	

希少種

備考

表2-5. 植生表(調査区5)

調査区No.	5
緯度経度	N43°13'57.4" E141°19'7.03"
面積	100m × 47m
汀線からの距離	300m
林分タイプ	カシワ林
群落高	計測せず

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
		カシワ		コマユミ		チマキザサ	
		アズキナシ		ツルウメモドキ		エゾチドリ	
		コマユミ		ナニワズ		スイバ	
		キンギンボク		キンギンボク		オオヤマフスマ	
		イタヤカエデ		ツタウルシ		クサフジ	
		マユミ		ヤマブドウ		ヒロハクサフジ	
		ハウチワカエデ		ハマナス		アマニュウ	
				ナワシロイチゴ		ミヤマセンキュウ	
				マユミ		クルマバソウ	
				イボタノキ		エゾカワラマツバ	
						ヘラオオバコ	
						レンブクソウ	
						オトコヨモギ	
						オオヨモギ	
						ヒヨドリバナ	
						コガネギク	
						ヒメイズイ	
						オオアマドコロ	
						カモガヤ	
						ツルタデ	

希少種 エゾチドリ(指定なし)

備考 エゾチドリの群生地(30本程度)にはササが多く成長が困難とおもわれる。



表2-6. 植生表(調査区6)

調査区No. 6  
 緯度経度 N43°13' 528 E141°19' 754  
 面積 100m × 50m  
 汀線からの距離 350m  
 林分タイプ カシワ林  
 群落高 計測せず

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
		カシワ アズキナシ イタヤカエデ コマユミ エゾヤマザクラ キンギンボク		コマユミ キンギンボク ナニワズ ハマナス イタヤカエデ ツルウメモドキ マユミ ヤマブドウ サワフタギ イボタノキ		チマキザサ ヤマシャクヤク ククルマバソウ エゾカワラマツバ キタノコギリソウ ヒメイズイ	

希少種 ヤマシャクヤク(国En/道R)

備考

表2-7. 植生表(調査区7)

調査区No.	7
緯度経度	N43° 13 501 E141° 19 754
面積	75m × 100m
汀線からの距離	400m
林分タイプ	カシワ林
群落高	計測せず

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
		カシワ アズキナシ イタヤカエデ エゾヤマザクラ ヤマグワ		アキグミ イタヤカエデ イボタノキ キンギンボク コマユミ サウフタギ ツルウメモドキ ナニワズ ナワシロイチゴ ハマナス ヤマブドウ		チマキザサ クルマバソウ ワラビ ヒメスイバ オオヤマフスマ ヤマシャクヤク ハマエンドウ アマニュウ エゾカワラマツバ ハマヒルガオ ヘラオオバコ キタノコギリソウ オトコヨモギ オオヨモギ ヤナギタンポポ タンポポモドキ コガネギク ヒメイズイ オオアマドコロ スズメノヤリ カモガヤ チャシバスゲ	

希少種 ヤマシャクヤク(国En/道R)

備考

表2-8. 植生表(調査区8)

調査区No. 8  
 緯度経度 N43° 13 125 E141° 19 154  
 面積 50m × 100m  
 汀線からの距離 250m  
 林分 カシワ-イタヤカエデ林  
 群落高 6m

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
		ミズナラ カシワ アズキナシ エゾヤマザクラ イタヤカエデ コマユミ ハリギリ キンギンボク エゾノバッコヤナギ ナナカマド		コマユミ イタヤカエデ マユミ ナニワズ キンギンボク ヤマブドウ ハマナス ツルウメモドキ		チマキザサ オオアマドコロ マイヅルソウ オオヤマフスマ ヤマシャクヤク ハマハタザオ シロツメクサ クサフジ ヒロハクサフジ メマツヨイグサ アマニュウ ミヤマセンキュウ セリ クルマバソウ ヘラオオバコ キタノコギリソウ オオヨモギ キバナノウリソウ コガネギク エゾスカシユリ ヒメイズイ カモガヤ キンミズヒキ ハマエンドウ ムラサキツメクサ ハマボウフウ エゾカワラマツバ ハマヒルガオ ナミキソウ エゾルリトラノオ ハマオトコヨモギ ユウゼンギク ニワホコリ チャシバスゲ	

希少種 ヤマシャクヤク(国En/道R)

備考 良く保存され、自然度が高い

表2-9. 植生表(調査区9)

調査区No. 9  
 緯度経度 N43° 13 066 E141° 19 237  
 面積 50m × 100m  
 汀線からの距離 400m  
 林分タイプ カシワ-ミズナラ-イタヤカエデ林  
 群落高 8m

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
		ミズナラ カシワ エゾヤマザクラ アズキナシ イタヤカエデ コマユミ ハリギリ ハウチワカエデ シナノキ		アズキナシ コマユミ ナニワズ ハイイヌガヤ ミズナラ エゾヤマザクラ イヌエンジュ ツタウルシ メドハギ タラノキ サワフタギ キンギンボク		マイヅルソウ チマキザサ ヤマシャクヤク クルマバソウ オオアマドコロ ワラビ アマニユウ オオヨモギ エゾチドリ イネ科sp. ミチヤナギ オトギリソウ クサフジ オオタチツボスミレ ミヤマセンキュウ ハマヒルガオ オドリコソウ エゾルリトラノオ オトコヨモギ コガネギク エゾスカシユリ コメガヤ	

希少種 ヤマシャクヤク(国En/道R) エゾチドリ(指定なし)

備考 良く保存され、自然度が高い  
くぼ地に下草のないところあり。人が入った跡の様。

表2-10. 植生表(調査区10)

調査区No. 10  
 緯度経度 N43° 13 038 E141° 19 289  
 面積 50m × 100m  
 汀線からの距離 500m  
 林分タイプ カシワ-ミズナラ-イタヤカエデ林  
 群落高 10m

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
		ミズナラ カシワ エゾヤマザクラ アズキナシ ハウチワカエデ イタヤカエデ ハリギリ イヌエンジュ		コマユミ ハイイヌガヤ ミズナラ アズキナシ ツタウルシ ナニワズ ハウチワカエデ ツルウメモドキ ハマナス ナワシロイチゴ メドハギ ノブドウ ヤマブドウ タラノキ サワフタギ イボタノキ キンギンボク		トクサ マイヅルソウ チマキザサ クルマバソウ オオアマドコロ ワラビ ヤマシャクヤク クサフジ コガネギク ヒロバスケ サイハイラン エゾチドリ オトギリソウ ハマハタザオ アマニュウ ホタルサイコ ミヤマセンキュウ クサレダマ ハマヒルガオ エゾルリトラノオ キタノコギリソウ チシマアザミ ヒヨドリバナ ヨツバヒヨドリ ヤナギタンポポ コウゾリナ ハンゴンソウ ヒメイズイ エゾスカシユリ ヤマアワ オニウシノケグサ アオスゲ	

希少種 ヤマシャクヤク(国En/道R) エゾチドリ(指定なし)

備考 良く保存され、自然度が高い

表2-11. 植生表(調査区11)

調査区No.	11
緯度経度	N43° 12' 993 E141° 19' 319
面積	50m × 100m
汀線からの距離	600m
林分タイプ	ミズナラ-イタヤカエデ林
群落高	1.5m

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
ミズナラ		ドイツトウヒ		ハイイヌガヤ		トクサ	
カシワ		ハイイヌガヤ		ツタウルシ		マイヅルソウ	
ハリギリ		ヤチハンノキ		コマユミ		チマキザサ	
シロヤナギ		ミズナラ		ツルウメモドキ		ヤマシャクヤク	
ハルニレ		カシワ		ヤマブドウ		クルマバソウ	
		アズキナシ		ナニワズ		オオアマドコロ	
		エゾヤマザクラ		イタヤカエデ		ワラビ	
		イヌエンジュ		ハイイヌツゲ		アマニュウ	
		ハウチワカエデ		キンギンボク		ヨブスマソウ	
		イタヤカエデ		ナワシロイチゴ		チシマアザミ	
		コマユミ		マユミ		キョウジャニンニク	
		ハリギリ		ノブドウ		ヒロバスゲ	
		トドマツ		アキグミ		スギナ	
		ヤナギ属sp.		タラノキ		サナエタデ	
		ヤマグワ		サワフタギ		ミミナグサ	
		エゾノバッコヤナギ		イボタノキ		オオヤマフスマ	
		シラカバ				カラマツソウ	
						ダイコンソウ	
						クサフジ	
						メマツヨイグサ	
						ホソバツルリンドウ	
						エゾカワラマツバ	
						ハマヒルガオ	
						ヘラオオバコ	
						キタノコギリソウ	
						オトコヨモギ	
						オオヨモギ	
						ヤナギタンポポ	
						コウゾリナ	
						オオハンゴンソウ	
						ハンゴンソウ	
						コガネギク	
						ヒメジョオン	
						スズメノヤリ	
						ハルガヤ	
						カモガヤ	
						イブキヌカボ	
						キンエノコロ	
						クゲヌマラン	

希少種 ヤマシャクヤク(国En/道R) ホソバツルリンドウ(国En) クゲヌマラン(国Cr)

備考 良く保存され、自然度が高い

表2-12. 植生表(調査区12)

調査区No.	12
緯度経度	N43° 12' 958 E141° 19' 383
面積	50m × 100m
汀線からの距離	700m
林分タイプ	ミズナラ-イタヤカエデ林
群落高	1.5m

出現種一覧表

高木		亜高木		低木		草本	
種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態	種類	分布の状態
ミズナラ		ハイイヌガヤ		ハイイヌガヤ		トクサ	
ハリギリ		ヤマナラシ		イタヤカエデ		マイヅルソウ	
		ヤナギ類		アズキナシ		チマキザサ	
		ミズナラ		ツタウルシ		クサソテツ	
		カシワ		ツルウメモドキ		オオヨモギ	
		アズキナシ		コマユミ		バイケイソウ	
		イヌエンジュ		ヤマグワ		ヤマシャクヤク	
		ハウチワカエデ		ヤマブドウ		オニシモツケ	
		イタヤカエデ		ハリギリ		メマツヨイグサ	
		ハリギリ		ヤマナラシ		クルマバソウ	
		オノエヤナギ		ミズナラ		カキドオシ	
				ナワシロイチゴ		ヨブスマソウ	
				メドハギ		ヒヨドリバナ	
				ハリエンジュ		オオハンゴンソウ	
				ノブドウ		オオアワダチソウ	
				キンギンボク		セイヨウタンポポ	
						オオアマドコロ	
						エンレイソウ	
						コウボウ	
						ワラビ	
						エゾノギシギシ	
						ミミナグサ	
						オオヤマフスマ	
						オトギリソウ	
						ムラサキツメクサ	
						シロツメクサ	
						クサフジ	
						クサレダマ	
						キタノコギリソウ	
						チシマアザミ	
						ヒメムカシヨモギ	
						コウゾリナ	
						ハンゴンソウ	
						コガネギク	
						ヒメジョオン	
						イグサ	
						コヌカグサ	
						カモガヤ	
						アキメヒシバ	
						クサヨシ	
						ナガハグサ	
						アオスゲ	

希少種 ヤマシャクヤク(国En/道R)

備考 良く保存され、自然度が高い

石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告第3号

編集・発行 2006年1月

発行者 石狩市生活環境部石狩浜海浜植物保護センター

〒061-3372 石狩市弁天町48-1

tel.0133(60)6107 fax.0133(60)6146(4月～11月)

tel.0133(72)3240 fax.0133(75)2275(12月～3月)

Email.ihama@city.ishikari.hokkaido.jp